

キュウリうどんこ病に対する 数種薬剤の防除効果

福島県農業試験場病理昆虫部
平成15年度福島県農業試験場試験成績概要

1 部門名

野菜－キュウリー病害虫防除
分類コード 03－01－23000000

2 担当者

堀越紀夫・芳賀紀之・平子喜一

3 要旨

農業試験場内圃場において、キュウリうどんこ病に対する防除薬剤の効果を検討し、以下のような結果が得られた。

- (1) 薬剤散布1週間後に調査したところ、供試した13薬剤のうち、メパニピリム水和剤(フルピカフロアブル)、キノキサリン系水和剤(モレスタン水和剤)、イミノクタジナルベシル酸塩水和剤(ベルコートフロアブル)、イミノクタジン酢酸塩・銅水和剤(ベフドー水和剤)、カスガマイシン・銅水和剤(カスミンボルドー)、ジチアノン・銅水和剤(デランK)、DBEDC乳剤(サンヨール)およびTPN水和剤(ダコニール1000)の8剤で比較的高い防除効果が得られた。特にキノキサリン系水和剤は、防除価 100と高い防除効果が得られた。
- (2) アゾキシストロビルリン水和剤(アミスター20フロアブル)、クレソキシムメチル水和剤(ストロビーフロアブル)、トリフルミゾール水和剤(トリフミン水和剤)、フェナリモル水和剤(ルビゲン水和剤)およびチオファネートメチル水和剤(トップジンM水和剤)の5剤は、防除効果が低かった。その原因として、これらの剤に対し薬剤耐性菌の発生報告があることから、場内で発生したうどんこ病菌についても耐性菌である可能性が疑われた。

4 その他の資料等

なし